

石川町

議会だより

No. 191

平成29年 5月1日

発行／石川町議会
編集／石川町議会広報
編集特別委員会



▲みんなの想いをつなげて(つるし雛)

2017

3月定例会

P2 審議結果

P6 紙上中継

P7 一般質問

P13 あれからどうなった?
(一般質問のその後は)

P14 議会報告と町民の意見を聞く会

118億1482万円

平成29年度予算決まる

平成29年3月定例会は、3月2日から9日までの8日間の会期で開かれ、条例案件8件、補正予算6件、当初予算9件、町道認定1件、規約変更1件、人事案件1件、請願3件、議員発議2件の合計31件を審議しました。

一般質問には6人の議員が登壇し、町政を問いました。また、53人の傍聴がありました。



▲こんな遊び場ほしかった（旧石川小学校）

人権擁護委員候補者の推薦

任期満了に伴い、人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて、渡邊雅子氏（大字母畑）、十文字美津子氏（大字母山形）の推薦を適任としました。

一般会計・特別会計 総額

「みんなが主役 協働と循環のまち」

● 基本目標 ●

保健・福祉・医療

健やかで人にやさしいまち
事業費／55億1949万円

- 地域福祉の推進 ● 児童福祉の充実
- 障がい者福祉の充実 ● 高齢者福祉の充実
- 人権尊重・男女共同参画の推進
- 保健・医療の充実 ● 保険制度の充実

産 業

にぎわいと活気のあるまち
事業費／13億3121万円

- 農林業の振興
- 商業の振興
- 企業の振興
- 観光の振興

生活・環境

安全・安心で快適なまち
事業費／16億627万円

- 土地利用の推進 ● 資源循環の推進
- 消防・防災対策の充実
- 交通安全・防犯対策の充実
- 公共交通機関の充実 ● 生活道路の充実
- 河川環境整備の推進 ● 町営住宅の充実
- 上水道の整備 ● 放射能対策の推進

教育・文化・スポーツ

豊かな心と文化を育むまち
事業費／5億6752万円

- 生涯学習の充実
- 青少年の健全育成
- 学校教育の充実
- 文化の振興と文化遺産・鉱物の保存・活用

町民・行政

町民の信頼に応えるまち
事業費／5210万円

- 情報化の推進
- 町民参加の推進
- 効率的な行財政の運営
- 広域行政・地方分権の推進

地域自治

ともに力を合わせてつくるまち
事業費／1億5852万円

- 石川地区まちづくり計画
- 沢田地区まちづくり計画
- 山橋地区まちづくり計画
- 中谷地区まちづくり計画
- 母畑地区まちづくり計画
- 野木沢地区まちづくり計画

議案・請願・発議 審議結果

議案番号	議案	審議結果		
議案 第2号	石川町個人情報保護条例等の一部を改正する条例	原案可決	全	員
議案 第3号	石川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全	員
議案 第4号	石川町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全	員
議案 第5号	石川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全	員
議案 第6号	石川町税条例等の一部を改正する条例	原案可決	全	員
議案 第7号	石川町特別会計条例の一部を改正する条例	原案可決	全	員
議案 第8号	石川町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全	員
議案 第9号	石川町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全	員
議案 第10号	平成28年度石川町一般会計補正予算（第6号）	原案可決	全	員
議案 第11号	平成28年度石川町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決	全	員
議案 第12号	平成28年度石川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	原案可決	全	員
議案 第13号	平成28年度石川町介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決	全	員
議案 第14号	平成28年度石川町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全	員
議案 第15号	平成28年度石川町水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決	全	員
議案 第16号	平成29年度石川町一般会計予算	原案可決	全	員
議案 第17号	平成29年度石川町国民健康保険特別会計予算	原案可決	全	員
議案 第18号	平成29年度石川町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	全	員
議案 第19号	平成29年度石川町介護保険特別会計予算	原案可決	全	員
議案 第20号	平成29年度石川町母畑財産区特別会計予算	原案可決	全	員
議案 第21号	平成29年度石川町中谷財産区特別会計予算	原案可決	全	員
議案 第22号	平成29年度石川町土地開発事業特別会計予算	原案可決	全	員
議案 第23号	平成29年度石川町宅地造成事業特別会計予算	原案可決	全	員
議案 第24号	平成29年度石川町水道事業会計予算	原案可決	全	員
議案 第25号	路線の町道認定について	原案可決	全	員
議案 第26号	石川地方生活環境施設組合規約の変更について	原案可決	全	員
議案 第27号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任	全	員

議案番号	請願・発議	審議結果		
請願 第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願について	採	択	全 員
請願 第2号	労働基準法改定案（閣法）の撤回を求める意見書の提出を求める請願	採	択	全 員
請願 第3号	「共謀罪」と同趣旨の「テロ等組織犯罪準備罪」創設に反対する意見書の提出を求める請願	不採	択	賛成少数
発議 第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	原案可決	全	員
発議 第2号	労働基準法改定案（閣法）の撤回を求める意見書	原案可決	全	員

第1回臨時会

2月9日

第1回臨時会は2月9日に開催され、一般会計補正予算（第5号）について審議されました。補正予算の内容は、昨年の12月定例会において減額修正となつた雇用促進住宅の取得費及び基本設計等委託料（403万4000円）と、平成29年度から開設となる消費生活相談室の改修費及び備品購入費等（603万6000円）が提案されました。

修正動議

本案に対し、根本重泰、矢内義将、関根武一議員の3名から「雇用促進住宅の取得」に係る予算を削除する修正案が提出されました。修正案の理由は、築35年の建物を購入し8年計画で4棟80戸を整備することに對し疑問が払拭できないとの理由です。

◆審議結果 可決（賛成多数）

議案番号	議案	議員番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議長
		議決結果 (賛・反)	根本重泰	近内雅洋	瀬谷寿一	小木芳郎	増子美知夫	草野伝明	関根武一	渡辺実	瀬谷京子	永沼一夫	矢内義将	中村孝太郎	山田英重	下山田和雄
議案第1号	平成28年度石川町一般会計補正予算（第5号） ※修正動議（雇用促進住宅取得に係る予算の削除）	否決 (6・7)	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	×	-
議案第1号	平成28年度石川町一般会計補正予算（第5号）	原案可決 (7・6)	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	-

※【修正動議】修正の動議については、案を備え、文書により議長に提出すべきものとされている。条例、予算等についての修正は、議員定数の12分の1以上の者の連署で修正動議を提出しない限り、審査の対象とならない。

3月定例会

動議

総務産業建設常任委員会に付託された請願第3号「共謀罪と同趣旨のテロ等組織犯罪準備罪創設に反対する意見書の提出を求める請願」の審査結果が不採択との委員長報告を受け、中村孝太郎議員から委員会への再付託を望む動議があり、関根武一、渡辺実議員が賛成し動議が成立しました。

動議の理由は、国会でも過去3回廃案となっており、その内容とほぼ変わりなく、まだまだ議論する余地があり疑問が残ることから再度委員会において審査することを望むものです。

◆審議結果 不採択（賛成少数）



議案番号	議案	議員番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議長
		議決結果 (賛・反)	根本重泰	近内雅洋	瀬谷寿一	小木芳郎	増子美知夫	草野伝明	関根武一	渡辺実	瀬谷京子	永沼一夫	矢内義将	中村孝太郎	山田英重	下山田和雄
請願第3号	「共謀罪」と同趣旨の「テロ等組織犯罪準備罪」創設に反対する意見書の提出を求める請願 ※動議(委員会への再付託)	否決 (3・10)	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	-
請願第3号	「共謀罪」と同趣旨の「テロ等組織犯罪準備罪」創設に反対する意見書の提出を求める請願	不採択 (4・9)	×	×	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	-

※【再付託】委員会からの審査又は調査報告について、不十分、不相当として、議会の議決により同一の委員会又は他の委員会に再度付託すること。



石川地方消費生活相談事業



▲6月に受付開始予定の消費生活相談室

Q 石川地方消費生活相談事業とは。

A 石川管内5町村が広域的に連携し、消費者のための相談業務を行う事業です。

Q 具体的にはどのようなことを行うのか。

A 消費生活相談員が、消費者からの電話や来所による相談に応じたり、消費者

Q 事業に係る経費負担は。

A 相談員の人件費や研修費は、原則7年間は県の交付金の対象になります。交付金対象以外の経費については、管内5町村で負担します。

Q 相談受付はいつからか。

A 相談受付は、祝日等を除く、月、火、木、金曜日の午前9時から午後4時まで、受付開始は平成29年6月頃になる予定です。

に対する啓発等を行います。

飲用井戸の水源確保対策



▲飲料水は命の根幹です

Q 給水区域内の居住者は補助対象外となっているが、本管からの引込みに道路横断や距離が遠く、引込み費用がかさむ場合は補助の対象とならないのか。

A 今回創設される井戸補助金は、給水区域外及び給水区域内でも本管からの引込みが困難な区域に居住する方が対象と

Q 共同で井戸を掘る場合の補助内容は。

A 共同で井戸を掘る場合も補助の対象となり、共同利用者の代表者が申請することになります。また補助額は、共同利用する戸数分の限度額（対象経費の1/2、上限50万円）が適用されます。

Q 石と川を生かしたまちづくりについて

A 「鉱物のまち石川」を内外に発信します



近内 雅洋 議員

【質問】 石川町の観光の一環として本格的な鉱物資料館をつくる考えがあるか伺う。

【答弁】 鉱物館は現段階では現在の公民館を改修し、鉱物館として活用していきたいと考えていますが、今後は、望み得る最大限の計画を作成していきたいと思えます。また、「県の石」の認定を機に県内外から多くの方々に本町に足を運んでいただけるよう、「鉱物のまち石川」を内外



▲待たれる鉱物資料館

に発信しながら、鉱物を生かしたまちづくりを進めて参りたいと考えています。

【質問】 まちなかの川に錦鯉を放流する考えがあるか伺う。

【答弁】 まちなかを流れる川を中心に町民が集い、桜や錦鯉を愛でる文化が醸成できれば子どもたちの情操教育の一助となり、まちづくりにも寄与するものと考えていますので、町として支援したいと思えます。

Q 薬草栽培の考えは
A 前向きに考えます

【質問】 遊休農地や耕作放棄地の対策として、薬草栽培を町が先頭に立って進める考えがあるか伺う。

【答弁】 薬草の栽培に関しては、農薬が使えないことや、国内には薬草を取り扱う市場もなく、製薬会社との委託契約を結ばなければ出荷できないことなど、生産、販売に課題が多い作物と認識しています。

【質問】 平田村や磐梯町では大学の薬学部との共同開発により「薬草の里づくり」を展開しているが、石川町で取り組む考えはあるか。

【答弁】 平田村でも軌道に乗るまでには時間を

要すると思われませんが、現在の農業政策の問題解決の一助になりますので、前向きに考えます。

【質問】 町のリーダーとして自覚を持って役場が先頭に立って取り組むべきと考えるが。

【答弁】 現在、地域づくりの問題、産業振興の問題ではスピードを持って対応するよう指示しています。



▶桜と鯉の癒しの風景



中村孝太郎 議員

Q 石川町の過疎指定をどう認識するか

A 名誉なことではない

助成に甘えない町づくりを考えたい

質問 石川町の過疎指定は大変残念です。町当局や議会は町民の意に沿った、真に町民参加の町政であったのか振り返る必要があります。過疎指定に対する認識を伺う。

答弁 名誉なことだとは思っていません。助成金などに甘えることなく、独自の生き方が出来る自治体をつくりたいと考えています。

質問 人口の社会的動態が他市町村と比して減少数、減少率とも高いことをどう考えているか伺う。

答弁 主要都市の外に周辺町村への転出も多

く、都市志向のみでなく、地価、交通網、雇用、医療、子育て環境など複合的な要因が考えられます。

質問 町が進める町づくりと町民の要求との乖離がないか。私が行った町民アンケートでは、働く場所、病院保育料軽減など子育て環境の整備、買い物を楽しむ商店街、安価な宅地、若者が気軽に利用できる施設、ふらりと出歩ける町、町の情報不足など様々です。特に病院の要望は多く、町がどう応えるのか伺う。

答弁 病院の問題は私

もそう思います。ただ石川町で病院をつくるのは難しい問題です。

Q 中心市街地の歩道改修はいつになるのか

A 平成34年度に完了が予定されています

質問 中心市街地の歩道は、散歩を楽しむ歩道とはお世辞にも言えません。安心して楽しく歩ける歩道もまちなか再生の一助になると思います。歩道整備の話が出て久しくなりますが整備計画は何年までに終了するのか伺う。

答弁 来年度から着工が予定され、平成34年



▲子育てしやすいまち

度に完了が予定されています。改修は事前に沿線住民や商店街などと調整を図りながら進められます。

Q 今出川の河川改修と新設道路について

A 北須川合流地点から上流300㍍を整備

質問 橋の架け替えのための調査が始まり、地元説明もあったと聞きました。地元の人は移転問題など、心配なところですか。河川改修と新設道路の計画を伺う。

答弁 河川改修は、今出川と北須川の合流地点から上流約300㍍区間です。新設道路は河川沿いに管理用道路が新設されるものです。町としては通学路としての安全と緊急車両の利便性が図れるよう県に要望していきます。

Q 町の「少子化」は他の町村より進んでいる 更なる子育て世代への負担軽減策が必要である

A 4月以降に、長期的な展望で計画し、努力したい



増子美知夫 議員

【質問】 少子化は町の衰退にかかわる問題である。克服するための、町長の決意を伺う。

【答弁】 町が掲げる「基本目標」のうち、子育て支援を中心に企業誘致・定住促進・子育て支援の施設充実や経済的サポートを實踐し、少子化・人口減少の改善に向け、全町民、団体、企業が一丸となって取り組んでいくことが必要です。町長として、この問題に本気になって取り組んでいきたいと考えています。

【質問】 昨年3月議会で

企業誘致の質問をしたが、1年が経過した現在の活動状況を伺う。

【答弁】 平成29年2月末現在の活動実績は企業訪問が7社で延べ8回、関係機関訪問は9機関で延べ32回、既存企業訪問が8社で延べ12回、セミナー等の参加が1回、合計で53回です。また一般財団法人日本立地センターを紹介し、製造業を中心に2万3000社に情報を提供し、関心のある企業を訪問しています。引き続き優遇制度の存在をPRし誘致活動を進めて参ります。

【質問】 子育て世帯への第二子の保育料の無料化について伺う。

【答弁】 現在の2人目を半額から全額無料化にすると、年間1300万円を超える財源が必

要です。現在の制度は保育所に2人以上入所していることが前提ですが、2人目を完全無料化にすると年間4300万円を超える財源が必要となります。幼児教育の無料化は一番いいことなので、4月以降に長期的な展望で計画し、努力したいと思っています。

【質問】 少子化対策として、空き家対策も含めた住環境整備計画を伺う。

【答弁】 これまで実施した空き家調査を基に「空き家バンク」を創設し、国・県の支援制度を活用して若者や子育て世帯への住宅確保に努めます。



▲沢田小学校スケート教室（於：母畑）



渡辺 実 議員

Q 広報いしかわの全戸配布の考えは

A 状況を調査し、方法を検討する

質問 過疎指定もあり、行政と町民の一体的町政運営が必要と考える。町は情報を積極的に提供し、町民の意見を行政に反映させることが重要であり、そのためにも広報紙の全戸配布の考えはあるか伺う。

質問 配布方法を検討します。
質問 町政懇談会を開催する考えは。
答弁 町内6ヶ所で開催します。

質問 若者との懇談会開催予定は。
答弁 新年度に取り組みたいと思っています。

Q 町営住宅の改修計画について伺う

A 今年度は形見団地の屋上防水工事を実施

質問 町営住宅の現状は。
答弁 248戸あり、家賃は月2000円、8万3000円、一人

答弁 区長さんとの意見交換、状況を確認し、



▲立ヶ岡にある町営住宅

二人世帯が60%、家屋の60%が耐用年数超過です。

今後、継続して使用する住宅と退居時点で解体する住宅に分けて、改修、修繕を行います。

質問 高齢者（65歳以上）のみの世帯数は。
答弁 66戸です。

質問 改修の内容は。
答弁 使用続ける住宅は外壁、屋上などを改

修し、それ以外は生活に支障がないよう修繕します。

質問 入居者の意見を反映すべきと思うが。
答弁 状況を把握し、進めていきたいと思いません。

質問 高齢者への対策は。
答弁 段差の解消や手すり等を設置し、改善を図る必要があると考えています。

Q 農業振興地域整備計画の

A 原案をつくり、地域に提示する

質問 農業振興地域整備計画の見直しの後は。
答弁 総合見直しをしてから20年が経過し、状況が大きく変化したためです。

質問 農業振興地域整備計画の見直しの目的は。
答弁 総合見直しをしてから20年が経過し、状況が大きく変化したためです。

質問 今後の予定は。
答弁 原案をつくり、地域に提示し、来年3月までに策定します。

質問 耕作放棄地の対応は。
答弁 周辺の農業生産に悪影響を及ぼさない土地は除外します。

要望 町農業振興計画を策定し、推進することを要望します。

Q 町有地の利活用について

A 未利用地は貸し付けや売却を行っていく



永沼 一夫 議員

【質問】 町有地の現状を把握しているのか伺う。

【答弁】 町が所有している土地は行政財産、普通財産を合わせて約136万5000㎡となっており、普通財産については保育所跡地など未利用地となっており、未利用地については、今後も引き続き貸し付けや売却を行っていく考えです。

【質問】 町の中心部にあ
る町有地をどのように
考えているか、また対
策を考えているか伺う。

【答弁】 町の中心部には旧役場本庁舎及び分庁舎跡地、あさひ公園駐車場、旧武道館跡地、北町と大室に町有地があります。旧役場本庁舎については、イベント広場や駐車場として活用し、旧役場分庁舎跡地については民間への貸与を検討していま

す。北町にある町有地は一部を民間事業者に貸与しています。また、あさひ公園駐車場は、これまで町職員の駐車場として利用してきましたが、役場庁舎移転後も常駐している車が多く見受けられます。周辺事業者等には従業員車を駐車



▲公園利用者の駐車場です

しないよう要請してきたところですが、引き続き注意を促す看板の設置や、町有地周辺の事業所や周辺住民に車を常駐させないよう要請するなど、町有地の適正な管理に努めてまいります。と考えています。

【質問】 石川自治センター前、あさひ公園駐車場は常時満車の状態にあるが、町営駐車場とし有料化の考えはあるのか伺う。

【答弁】 あさひ公園駐車場は、川沿いの散策を楽しむ方や商店街で買い物をする方に開放しています。さらには、町なか朝市など、各種イベントの会場や石川自治センターの駐車場として利用しています。このような状況から、あさひ公園駐車場の有料化は考えていません。



瀬谷 京子 議員

Q 文教福祉複合施設に西棟2階を残し活用を

A 現計画案が最善と判断しています

質問 進捗状況は。

答弁 6月には実施設計を仕上げ、来年8月からの開館を予定しています。

質問 各団体からの提案や要望はなかったのか。

答弁 文化協会をはじめ団体、個人から西棟2階を残し、作品展示や催事に多目的に活用すべきとの要望がありました。

質問 ワークショップでの意見は。

答弁 世代間や団体間交流により多機能拠点としての施設を期待する意見がありました。当施設は、子育てし

やすい環境整備、遊び場の提供と、図書室を

図書館にすることを重点にスタートした計画ですので、予定どおり進めます。

質問 改修にかかる費用は。

答弁 現段階で、本体が7億5600万円、特別棟解体費が2000万円程度と試算しています。

意見 交流人口を増やし、多機能拠点とするためにも西棟2階の活用を望む。



▲キャリア教育で特色を出している県立石川高校

Q 県立石川高校の存続

へ向けての対策は

A 町も議会と一緒に

なって全力を尽くす

質問 現状を伺う。

答弁 これまで160人だった募集定員が平成29年度には80人とな

り各学年2学級となっています。

県の高校改革計画では、1学年2学級規模で、入学者が募集定員の2分の1以下が3年続いた場合、分校とするとしています。

質問 学校でもワーク&ライフ教育等を実践し努力している。管内唯一の県立高校存続のため協議会を立ち上げ支援する考えは。

答弁 管内の町村長でバックアップしようと協議を進めています。町でも地元企業と学校との連携を図り積極的に支援し、存続に全力を尽くす考えです。

Q 町民からの請願・

陳情・要望は

A 今後も適切に

対応します

質問 実績を伺う。

答弁 本年度のこれまでの受理は405件、実施済みが284件(70%) 実施予定が80件(20%) 検討中のものが41件(10%)です。要望等は所管課で内容を精査し、緊急性、重要度、地域間の均衡等考慮し、事業化します。**意見** 申請者への迅速な対応と明確な回答を望みます。

地域自治協議会の今!!

町内6地区で地域自治協議会準備委員会を立上げ、地区住民の理解を得た上での、協議会設立の予定です。進み具合は様々ですが、活発な意見交換が行われています。



▲あふれる笑顔

- 石川地区 …… H26.12以降、休止中。
- 沢田地区 …… H28.9.25設立総会。H29総会に向けて活動中。
- 山橋地区 …… H29年度中に設立総会開催予定。
- 中谷地区 …… H29.6.18（日）設立総会開催予定。
- 母畑地区 …… H29年度中に設立総会開催予定。
- 野木沢地区 …… 月一回の勉強会開催。H29継続協議予定。

< 地域自治協議会の目的とは >

地域住民組織（自治協議会）が主体的な地域づくり活動をおこない持続可能な地域をつくっていくことを目指す。また、町は円滑な運営を支援する。

▶ 改修が決まった雇用促進住宅



これら
の改修
を予定
するに
あわせ
、給排水
・電気・
機械等
の設備
調査を
行っ
てきた。
今後、
平成29
年度中
に実施
設計を
作成し
、平成
30年度
には改
修工事
を実施
する予
定です。

活用に向け
て耐震診
断を実施
し、先
ず、1棟
20戸を
現行の建
築基準法
等の耐震
性能につ
いて確認
すると
ともに、
給排水・
電気・機
械等の設
備調査を
行っ
てきた。
今後、平
成29年
度中に
実施設計
を作成し
、平成
30年度
には改修
工事を実
施する予
定です。

「雇用促進住宅石川宿舎」は、平成20年に新規入居を停止した後、東日本大震災に伴う避難者の応急
勤労者向け賃貸住宅として設置された
「雇用促進住宅石川宿舎」は、平成20年に新規入居を停止した後、東日本大震災に伴う避難者の応急
一方、町では人口減少の対策および若者・子育て世帯への住宅支援策となり得る「雇用促進住宅」の活用に向け
結果を踏まえ、平成29年2月第1回臨時会において雇用促進住宅（土地・6836㎡、建物・4棟80戸）の取得および基本設計予算について
議決を頂いたところ
です。

あれからどうなった？

一般質問のその後は

平成28年3月
定例会より

若者定住に雇用促進住宅の活用を

を聞く会」参加者186名

民の意見を聞く」ことを重視しました。

各地区会場とも大勢の皆様に参加いただき活発な意見をお聞きすることができ、今後のまちづくりに生かす貴重な意見交換の場となりました。



母畑地区会場

調査・報告を行います

- 行政課題などに対する議会の対応や取り組みを聞きたい
- 議会報告は町の代行のようだ
- 短期・長期に分けて議員提案を出してほしい

過日の議会報告と町民の意見を聞く会は、町民の意見を聞くこと」を目標に開催いたしました。参加者の皆さんの発言内容に様々な変化が見受けられました。

その一例として、これまで、それぞれの地域に関する意見・要望が多かったように思います。

しかし、今回は町全体や議員活動に関する意見・要望をたくさんいただくことがで

きました。

町民一人ひとりが、町全体に関心を持たれている事は、大変すばらしい事だと思います。

我々議会といたしましても、このような機会を数多く持ち、皆様の要望にお応えできるよう、前進していきたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

実行委員長 永沼 一夫

議会運営委員会 所管事務調査

議会運営委員会では、今後の議会活動並びに議会運営の参考とするため、「議会活性化の取り組み」及び「議会運営」について所管事務調査を行いました。

実施日

平成29年1月25～26日

研修内容

【栃木県那須郡
那珂川町・那須町】

◆議会活性化の

取り組みについて

両議会とも長期的な組織を設置して議員の交代があっても継続的に取り組み、目標を明確にして町民のために分かり易い議会を目指している。

◆議会運営について

那須町議会では、町長への政策提言を行っている。

「議会報告と町民の意見」

▶ 沢田地区会場



1月17・18・19日の3日間、町内6ヶ所で「議会報告と町民の意見を聞く会」を開催しました。

当議会では、町民に開かれた議会、町民とともにつくる議会を目指して、今回から「議会報告」よりも「町

意見76件 要望25件

- 町の課題について理解できた、今後もつづけてほしい
- 意見が出て活発であった
- もっと回数を増やしてほしい

議会を傍聴しませんか
 議会は、本会議・委員会とも傍聴できます。
 6月定例会(一般質問)は6月12日(月)の予定です。

◎ 地区別・年代別アンケート

地区名	参加者数	回答総数	年代別内訳						回答率
			40代	50代	60代	70代	80代	不詳	
石川	31	13	1	2	6	2	1	1	41.9
沢田	36	23		4	17		1	1	63.9
山橋	24	17			12	3		2	70.8
中谷	42	19		2	11	3		3	45.2
母畑	25	11		1	7	3			44.0
野木沢	28	18	1	1	10	5		1	64.3
計	186	101	2	10	63	16	2	8	54.3



▲ 那須町議会

その成果の検証が求められる中で、執行部との政策懇談会を予定している。また、那珂川町議会では、議会報告会の一環として各常任委員会が所管の関係団体と意見交換を開催し、充実した議論ができています。

予算・決算審査特別委員会については、両議会とも3月と9月に設置されている。

全議員で審査することで、予算内容の理解が深まる。

また、効率的かつ円滑な議案審査の観点から、質疑内容等を各議員が事前に整理することにより、質の高い議論が期待される。

未来に向かかって

・高校生の声

学法石川高校

3年

古寺 冴佳

夢に向かかって



古寺冴佳さん

私の一番の目標はインターハイで入賞することです。そのために今日まで休まず走ってきました。

陸上を始めた頃はここまで本気でやるつもりも高校で続ける気もありませんでした。走ることはとても単純でレースはいつも一人で。特に長距離は、試合中に何度も自分との戦いがやってきます。



▲第62回県高校総体陸上競技

緊張と不安に押しつぶされそうに「どうして自分はこんなに孤独な競技をやっているんだろう」と思ったこともあり、でもやめずに続けてきました。記録や順位はもちろん大事ですが、それ以前に私は走ることが大好きだからです。

もちろん辛いことはたくさんあります。朝が早いこと、雨の日も雪の日も練習すること、設定タイムが速いポイント練習。でも何よりも辛いのは走りたいのには走れないこと、怪我をすることです。

昨年、初めて大きな怪我をして一か月全く走れず、みんなが走っている姿を見るのが辛くて仕方ありませんでした。「一足が痛い人だっただけなのに」なんて不謹慎にも考えてしまうこともあり、そんな時、支えてくれたのは先生や仲間、家族の存在でした。

私がかつたけど、得たものも多くあります。陸上は個人競技じゃない、走るの自分だけじゃなく、みんなの想いと一緒なんだ、一緒に戦っているんだと気づくことができました。いつも私を支えてくれ、応援してくれて、いい結果が出た時は自分のことのように喜んでくれる仲間。

いつか私も誰かにとってそういう存在になれるよう、誰かの支えになれるように努力をしています。そして私たちがお互いに支え合える関係になった時には、もう一つの目標である都大路入賞を達成します。

編集後記

石川町は、地方創生総合戦略、まちなか再生行動計画などにより、定住対策を進めています。この4月から過疎地域に指定されました。

予想以上の人口減少に、他人事ではないと危惧しています。

住みたくなる町をつくるために、自分たちの町はどうすれば良くなるのか、町民一人ひとりが熱く語り合う場が、もっとも増えれば、活気あふれる町づくりができると思います。

近内雅洋

議会広報編集 特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 根本 重泰 |
| 副委員長 | 瀬谷 寿一 |
| 委員 | 近内 雅洋 |
| 委員 | 小木 芳郎 |
| 委員 | 増子 美知夫 |
| 委員 | 山田 英重 |